

2005年3月24日

～森にこだわり、森を育て、持続可能な森林管理を実践～ 新居浜市別子山「フォレスターハウス」リニューアルオープン

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は愛媛県新居浜市別子山にある「フォレスターハウス」を一新し、3月19日（土）にリニューアルオープンいたしました。「フォレスターハウス」は、100年の時を超えて受け継がれてきた住友林業の「保続林業」の取り組みをご紹介するとともに、森林を通じた環境問題、より豊かな森をつくるための情報を発信する基地となることをめざしています。

本施設は、住友家別子支配人伊庭貞剛（のち第2代総理事）が明治27年（1894）から実施した「大造林計画」100周年を記念して、住友林業が平成5年（1993）に愛媛県別子山村(当時)中七番の地に開設した施設です。従来より四国社有林の紹介等展示しておりましたが、開設から10有余年が経過したことで展示物等の内容を刷新し、パネルや模型により当社の現在の取組みを具体的に、わかりやすくご紹介するとともに、森の仕組み、新居浜の自然について学んでいただける様館内をリニューアルいたしました。館内は、住友林業四国社有林の姿を紹介する「住友の森ギャラリー」、山林事業や森林管理に関する情報や技術を紹介する「持続可能な森づくり」、住友の山林事業の成り立ちや住友林業の現在の環境活動などを紹介する「住友林業の環境保全活動」、フォレスターハウス周辺の自然を紹介する「フォレスターハウスの自然観察」の4ゾーンで構成されています。

約400年に及ぶ住友グループの発展の礎となったのは、元禄4年（1691）に開坑した別子銅山ですが、本施設のある新居浜市別子山中七番は、この銅山事業を支える森林造成のため、明治15年（1882）に苗木栽培所が設立された住友の植林事業ゆかりの地です。その後本格的な植林事業が「大造林計画」に基づいて実施され、永続的に植林と再生産を繰り返す「保続林業」の理念へ発展していきました。これが当社の環境保全活動の原点となっています。

そして現在この地で、森林の生態系をめぐる動植物や微生物、そして土、水、大気などの諸機能について考え、現代社会が求めるサステナブル（持続可能）な森林管理をめざす「住友の森エコシステム」をテーマに森林整備に取り組んでいます。また、「フォレスターハウス」とともに「記念広場」を一般の方々に公開し、年間平均約5,000名、開設以来累計で約65,000名の方々にご利用頂いており、今後も森林散策はもちろん、自然観察、環境教育の場として積極的に活用頂けるよう情報を発信し続けます。

「フォレスターハウス概要」

- | | |
|---------|-------------|
| 1.構造 | : 木造軸組 |
| 2.延べ床面積 | : 399平方メートル |
| 3.休館 | : 毎週月曜日 |



フォレスターハウス（室内）

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野、佐藤

東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)

TEL: 03-3214-2270